

体育の専科制で 実現させる児童のための よりよい教育環境

学校法人 ^{せんぞく}洗足学園 ^{せんぞく}洗足学園小学校 (神奈川県)

全校児童数	459名(男子225名 女子234名)		
全クラス数	12	教職員数	31名(内体育専科4名)
クラブ活動または運動部活動	5	参加延べ人数	96人
地域の外部指導者の活用(年間延べ人数)	0人		

取組時の課題と目的

Plan

1 取組時の課題

本校では30年ほど前から体育の専科制を導入している。専科制では専門的な知識、技能をもった教員が指導を行う。この専科制の長所を生かした教育活動の在り方を検討した。

2 取組の目的

- ①児童が安全に楽しく学習できる体育授業を行う。
- ②体育専科教員間の連携を深め、学習内容の充実と、指導技術の向上を目指す。
- ③運動会やスポーツ大会等の体育行事の質を高める。

取組の内容

Do

1 安全の確保

(1) 複数の目で見守る

本校では専科制に加えて体育の授業でもTTの形式を採用している。体育専科教員がもう1名授業に加わり、複数の教員の目で児童の安全を見守っている。

(2) 緊急時の早急な対応

2名の教員がいることにより、児童の怪我や体調不良をいち早く発見し対処することができる。また、その間も授業を滞りなく進めることも可能となる。

2 授業の効率化

(1) 授業の効率化

本校では同一学年の授業を同じ教員が受け持っているため、指導内容の均一化を図ることができる。また、授業時間も2クラスを2時間続きで受け持つ時間割を組んでいるため、授業準備の時間を短縮することができる。さらに、体育行事の際には学年で2時間続きの時間割を組むことも容易になる。

(2) 指導技術の向上

TT形式の授業で、教員も互いの授業技術を研鑽する機会を得ることができる。また、授業終了後は指導内容について互いに検討する時間を設け、指導技術の向上につなげることができる。

3 児童の運動技能の向上

(1) 運動量の確保

必要に応じて2名の教員でクラスを分割して指導を行うことにより、待機等の時間を減らし、児童の運動量を増やすことができる。

(2) 個に応じた指導

TT形式の授業により、全体を指導する教員と個々に対応する教員とを分けることができる。これにより、児童一人一人に応じた細やかな指導が可能である。

4 体育行事を創る

(1) 運動会での集団演技

運動会では競技種目の他、演技種目も行われる。演技種目について体育専科教員が内容を検討し、新しい取組を行っている。その結果、児童は常に向上心をもって演技に取り組むことができていると思われる。

(2) 校内スポーツ大会

毎年2学期に行われるスポーツ大会では、どの学年も優勝を目指して練習に励んでいる。体育専科教員は全体のレベルアップのため、クラスや学年の垣根を越えて技術指導を行い、熱い戦いを盛り上げている。

(3) 対外的な記録会への出場

体育専科教員が、神奈川県私立小学校水泳記録会や陸上記録会といった、対外的な記録会への参加を一括して取りまとめており、各種の手続きや練習計画の立案を円滑に行うことができる。また、大会に向けた児童の練習にも教員が積極的に参加し、児童とともに汗を流している。

●工夫したこと

- ①体育専科教員が指導するので、カリキュラム作成時には多くの単元を設定できた。そのため、児童に幅広い運動経験を保障することができた。
- ②各教員が担当した学年の授業記録を残し、次年度以降も学習内容の均一化を図ることができた。また、その際に反省事項や課題も併せて記すことにより、教員の指導技術や授業内容の向上も果たせた。

取組の成果

Check

①運動時間の確保

専科制の授業を通して児童の体力が向上し、積極的に運動するようになり、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合が、男女とも、全国平均を下回った。

②怪我の減少

複数の教員で安全に留意して授業を行えるため、授業中の事故や怪我を減らすことができた。

③記録会での入賞

対外的な記録会に多くの児童が参加し、様々な種目で活躍することができるようになった。

今後の課題

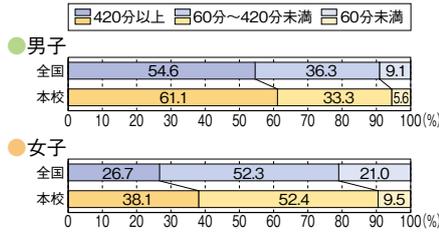
Action

数多くのメリットがある専科制だが、専科制を導入するためには、学校全体の職員数を増やさなくてはならないため、限られた条件の中でそれを実現させることが課題となっている。

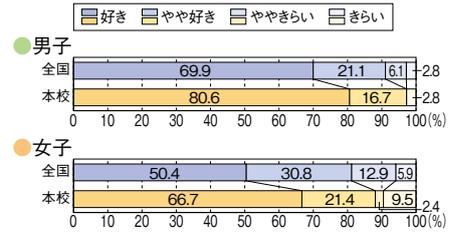
●体力合計点と運動時間

	男子	女子	
体力合計点(点)	54.8	56.0	
(学級別)総平均	A	11.4	22.0
	B	28.6	22.0
	D	11.4	22.0
	E	11.4	4.9
	AB-DE	17.2	17.1
1週間の総運動時間(分)	544.4	378.5	
60分未満の割合(%)	5.6	9.5	

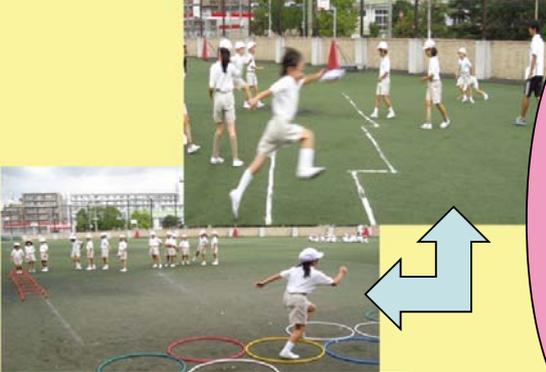
●1週間の総運動時間の分布



●[質問14]運動やスポーツが好き



安全の確保



クラスを分割して指導

全体指導



個に応じた指導

運動時間増

運動技能の向上

パリテを用いたダンス



6年生による
学年ピラミッド

体育行事を創る

学校行事との連携

情報の共有



指導内容の均一化

授業技術の研鑽

準備時間の短縮

授業の効率化

取組の成果

対外的な記録会での入賞



保健室利用における体育授業中のけが人の割合 H17(TT導入前)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1学期	12.3	14.1	13.8	9.1	16.4	18.0
2学期	25.6	19.1	23.0	23.0	20.9	26.0
3学期	19.8	22.7	21.4	22.3	16.8	43.5

H24(TT導入後)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1学期	8.5	5.7	3.4	11.6	12.4	13.0
2学期	5.3	3.7	5.7	11.6	10.7	5.0
3学期	0.5	15.2	11.4	21.4	21.6	13.8

(%)